

# 移住希望・ 転入出動向調査 レポート 2017



データによる科学的まちづくりへ

島コンラボ

<http://shimagurashi.net/>

# 調査の趣旨と目的

良いまちをつくり、移住定住を推進するためには、移住希望者、移住者、島民、転出者など、それぞれの人の動向や現状をしっかりと理解することが必要です。

「島コラボ」とは、そのような移住定住推進のための要因を調査、考察、議論していく活動です。データに基づく科学的まちづくりの実現を目指しています。

今回は、「移住希望会員登録」「転入届提出」「転出届提出」のタイミングでアンケート調査を実施し、移住定住に関する現状を把握することを目的とします。

## 調査方法

移住希望者の動向調査に関しては、ホームページ「島ぐらしガイド」に移住希望者会員として登録頂く際にアンケートを実施しました。2017年4月1日～11月16日の間で、移住希望者全体の有効登録総数(※)は110件でした(※重複データ、誤入力を削除したデータ)。

転入者、転出者の動向調査に関しては、久米島町 仲里庁舎 町民課の皆様のご協力の下、転入届/転出届提出時に調査票を配布しました。記入後、仲里庁舎内に設置した回収箱に投函頂き回収しました。2017年3月1日～11月16日の間で、回収できた調査票の総数は転入122件、転出118件でした。

## 当レポートを ご覧頂く上での注意点

- ・グラフに関しては、単一回答のものに関しては該当設問における有効回答数を母数とした割合を、複数回答のものに関しては回収した調査票の総数を母数としています。
- ・なお、人口規模の問題で、サンプルの絶対数が少なく、統計的にはまだまだ確かな結果とは言えません。あくまで現時点における調査結果とご理解下さい。
- ・また、中学生、高校生と思われる人には転入、転出時にアンケートを渡していない為、調査結果からは除外されています。

# ①人を理解する

どんな人に移住希望があり、  
どんな人が久米島に転入し、  
どんな人が転出しているのか？

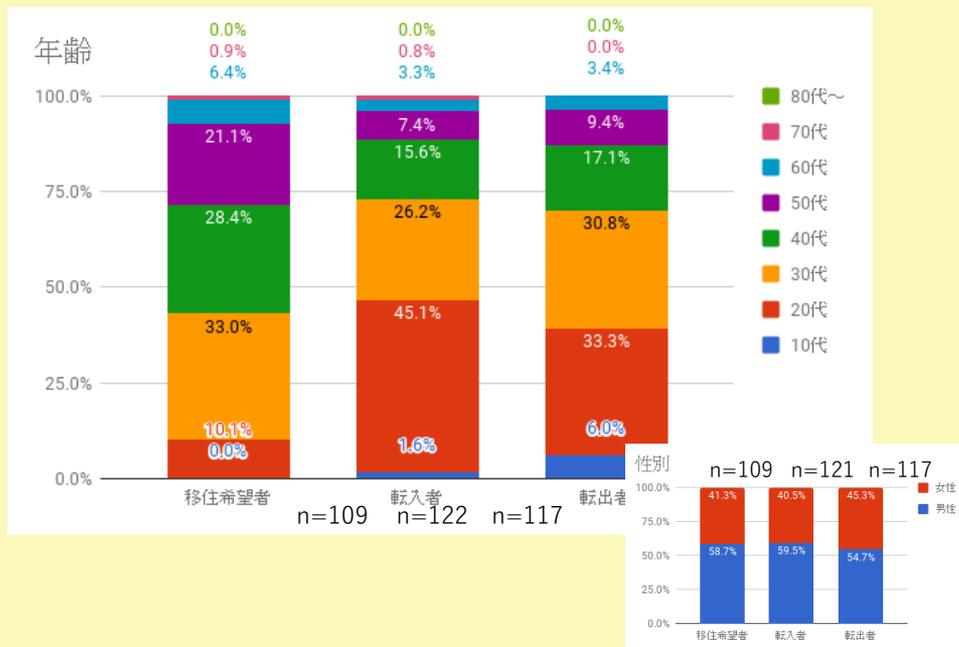


データによる科学的まちづくりへ

## 島コンラボ

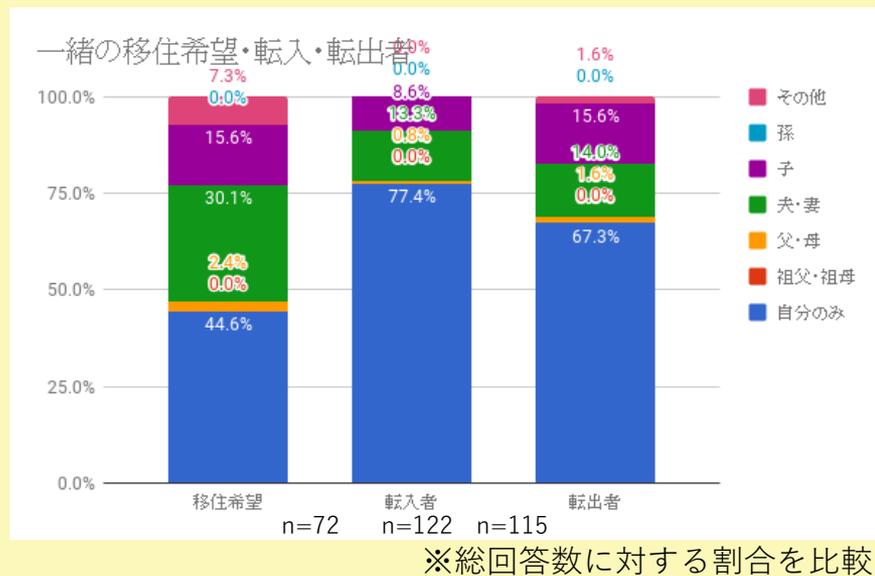
<http://shimagurashi.net/>

# 年齢、性別



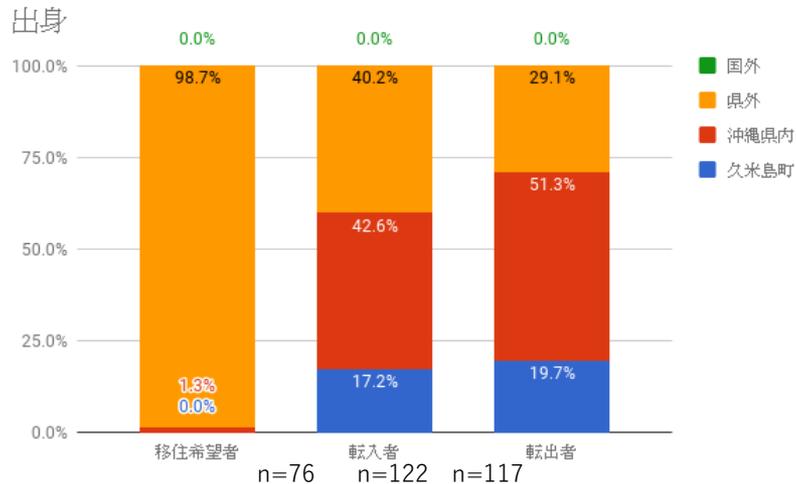
性別に関しては顕著な違いは見えませんが、年齢には傾向が見えます。移住希望を持つのは30代~50代で全体の8割を締める一方、転入・転出の割合では5割ほどです。一方、20代の転入、転出が顕著に増加します。**30代以上は移住の条件が満たしづらく、移住希望があっても移住には至らない一方、フットワークの軽い20代が多く移動している**ことが伺えます。

# 帯同者

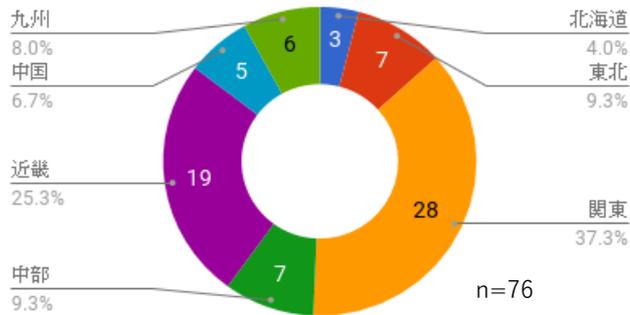


移住希望者の場合は単身が4割、夫婦帯同が3割でした。実際の転入者、転出者は単身が7~8割、夫婦帯同が1割でした。夫婦や家族などの**世帯が移住希望を持つ一方、実際に転入には至らない様子**が伺えます。  
また、単身者はやはりフットワークが軽く、転入や転出に結びつきやすいことが読み取れます。

# 出身



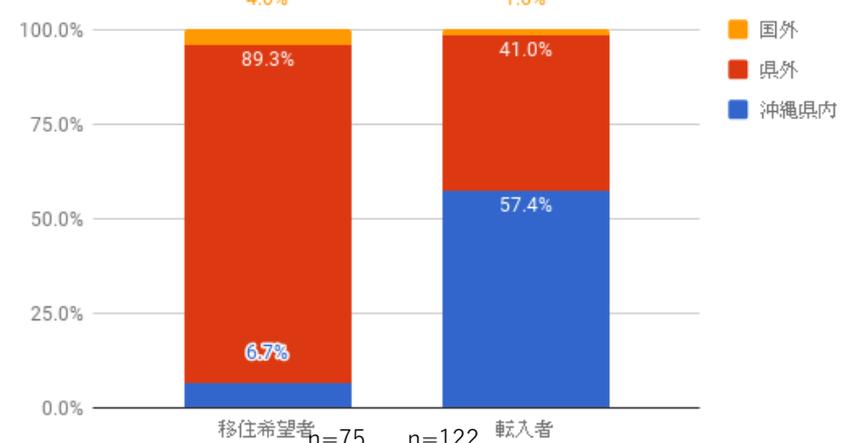
## 移住希望・県外出身者の地方ごとの割合



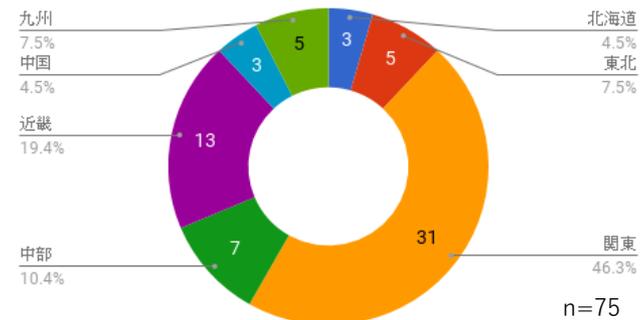
登録している移住希望者は県外がほとんどですが、転入・転出では全体の3~4割です。また、2割ほどの久米島出身者の転入・転出が伺えます。

# 住んでいる地域

## 現在住んでいる・転入前に住んでいた地域



## 移住希望・県外在住者の現在住んでいる地域



移住希望者は9割が県外、実際の転入者は4割ほどが県外となっています。県内の移住希望者について、開拓の余地があります。

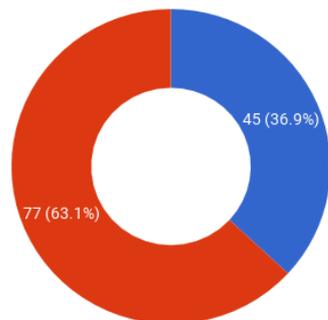
# 転勤者と移住者

移住・定住施策を考える上で、**転勤者と移住者**はある程度分けて考える必要があります。

転入、転出双方において、全体の3~4割ほどを公務員が占めています。これら公務員は転勤での転入、転出が基本となりそうです。

転入時で見ると、転勤者は全体の6割ほどとなりました。

転勤者とそうではない転入者の割合

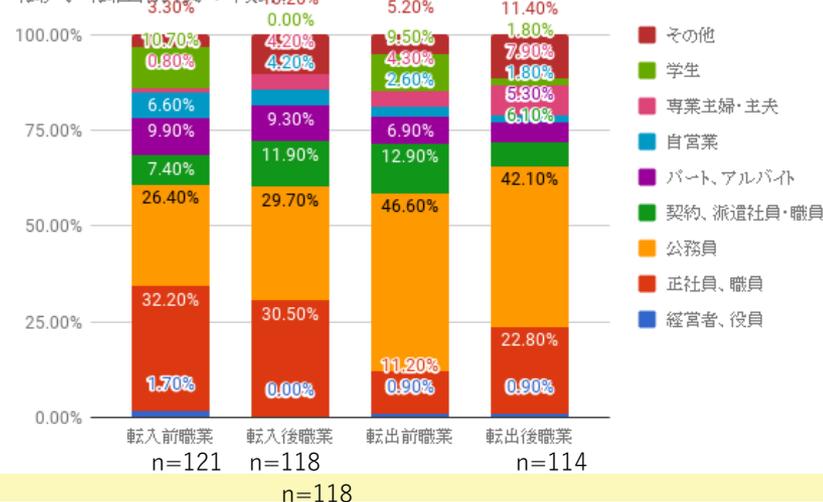


● 「転勤など仕事の都合」以外の転入者  
● 「転勤など仕事の都合」での転入者  
n=122

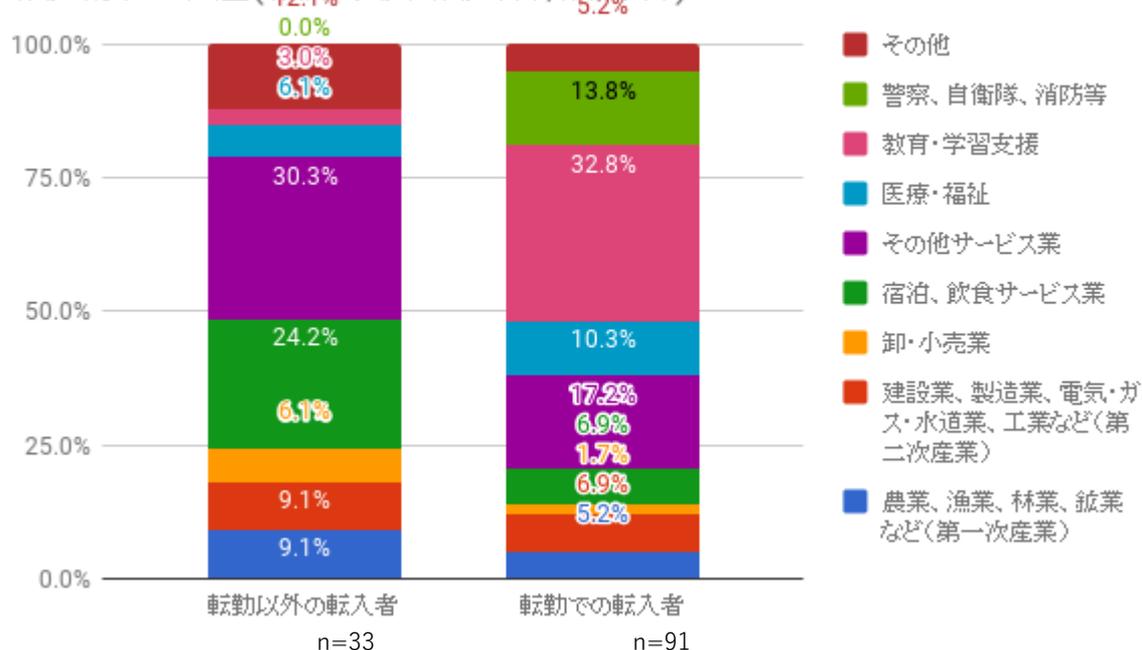
転入後に従事する業種を見ると、**転勤者の場合は「教育・学習支援」「警察・自衛隊・消防隊」が特徴的に多くなりました。**

一方転勤ではない転入者(=移住者)の場合は**「宿泊、飲食サービス業」「その他サービス業」が特徴的に多くなりました。**

転入・転出前後の職業



転入後の業種(転勤以外転入者,転勤者)



# 移住希望者の資格、能力

下の表は、移住希望者さん達の持つ資格や能力の一覧です。仕事に役立つ資格を持つ人のほか、今後更に不足すると考えられる介護・福祉領域の有資格者もいらっしゃいます。

島ぐらしコンシェルジュは、これら移住希望者さんたちと島内事業者さんとのマッチングサービスも実施しています。人をお探しの方はぜひ島ぐらしコンシェルジュまでお声がけ下さい。

教員免許（小中高）	看護師免許
損保保険募集人	四輪大型、移動式クレーン、玉掛け 車両系、リフト、高所作業車
1級建築士 世界遺産検定2級	車両系建設機械・船舶免許 等
1級建築士、1級施工管理士、第1種衛生管理者など	社会福祉士
DTPエキスパート、クロスメディアエキスパート	習字準四段、クラニオセイクラルセラピー
Excel2級Word2級日商簿記3級電卓3級ビジネスマナー修得	小学校教員免許 中学校教員免許 スポーツ指導員 ダイブマスター（PADI）
ガス、アーク溶接、フォークリフト、2級自動車整備士、第二種電気工事士、クレーン、玉かけ	小学校教員免許、juida認定無人航空機操縦士、
キャリアコンサルタント、心理カウンセラー、米国宝石学会公認宝石鑑定鑑別士	新しいビジネススタイルの創造
フォークリフト、航空貨物危険物取扱い資格、貿易実務検定C級、IATA Diploma(Basic,Advance),TOEIC Score(695点)	第1種証券外務員、FP3級
フォークリフト、床上操作式クレーン	第2種電気工事士、玉掛、介護職員初任者研修修了、介護実務者研修修了
ヘルパー2級、大型二種免許など	中型トラック免許
ヘルパー二級	中型免許
ラジオ体操2級指導士	調理師免許・防火管理責任者・運転免許
日商簿記3級、ITパスポート	電気各種
介護実務者、食品衛生管理者	普通運転免許、英語日常会話、写真・映像・音楽等のメディア収録・編集
介護福祉士	船舶2級、証券外務員1級
介護福祉士	保育士
介護福祉士 ケアマネージャー TOEIC820点 英検準1級 医療事務	保育士資格
介護福祉士、介護支援専門員、総合旅程管理者	溶接（アーク、ガス）、危険物（丙）

# ②移住の障害

移住希望者と移住者(転勤者以外の転入者)の  
傾向を比較し、移住の障害を  
考える



データによる科学的まちづくりへ

島コンラボ

<http://shimagurashi.net/>

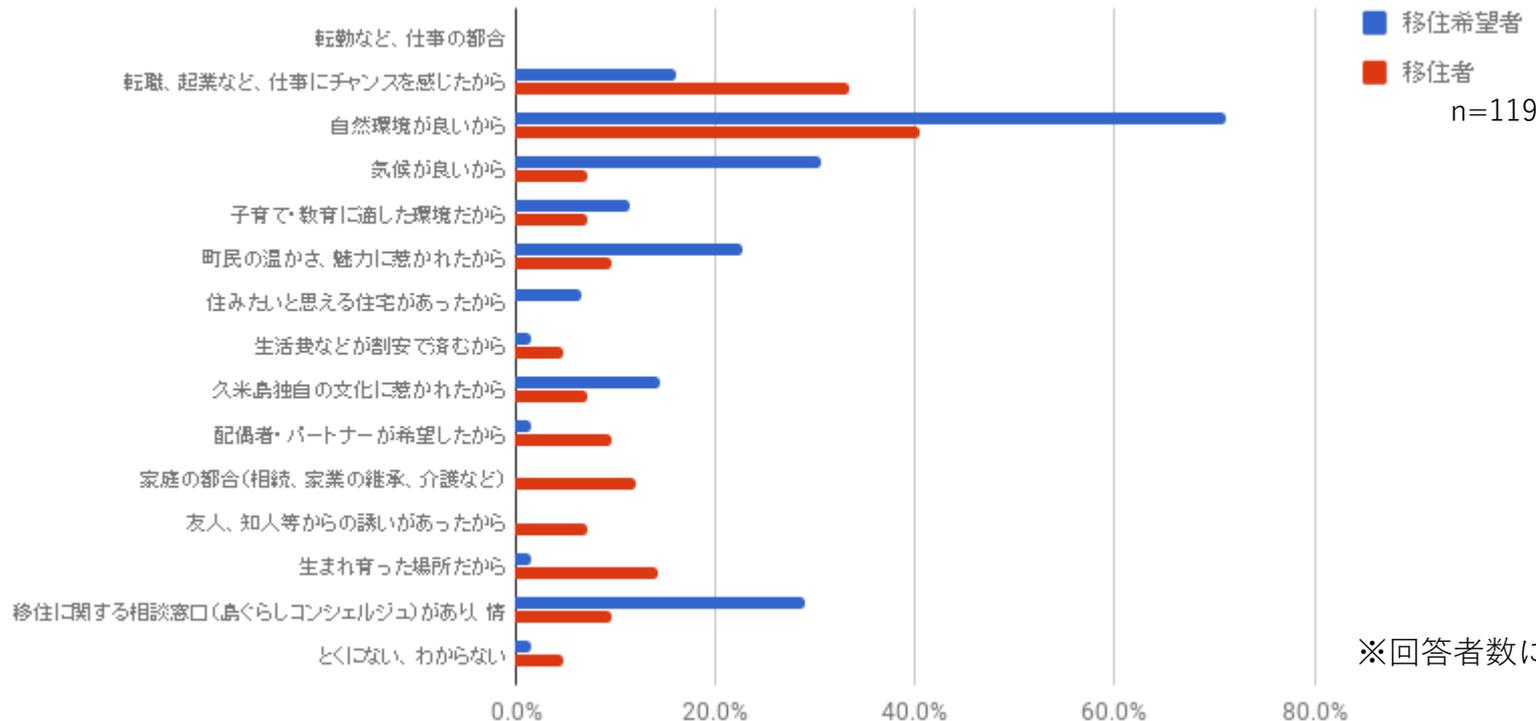
# 移住希望者と移住者の「興味をもった理由」の違い

ここからは、移住への障害を考えてみたいと思います(移住者とは、転勤以外の理由で転入した人を指すこととします)。「移住に興味をもった理由」と

実際に移住した理由を、移住希望者と移住者で比較してみます。

移住希望者、移住者共に「自然環境の良さ」が興味を持った理由一位となりました。移住希望者では、「気候の良さ」「島ぐらしコンシェルジュの存在」「町民の温かさや魅力」が理由として挙げられています。移住者では、「転職、起業など、仕事にチャンスを感じた」「生まれ育った場所」「家庭の都合」と続いています。注目すべきは、**仕事にチャンスを感じている移住者と移住希望者のギャップ**です。

移住に興味を持った・移住の理由やきっかけ(3つまで)



移住者と移住希望者のギャップです。

仕事の魅力やチャンスについて、移住希望者への情報提供を強化することで、移住者が更に獲得できる可能性があります。

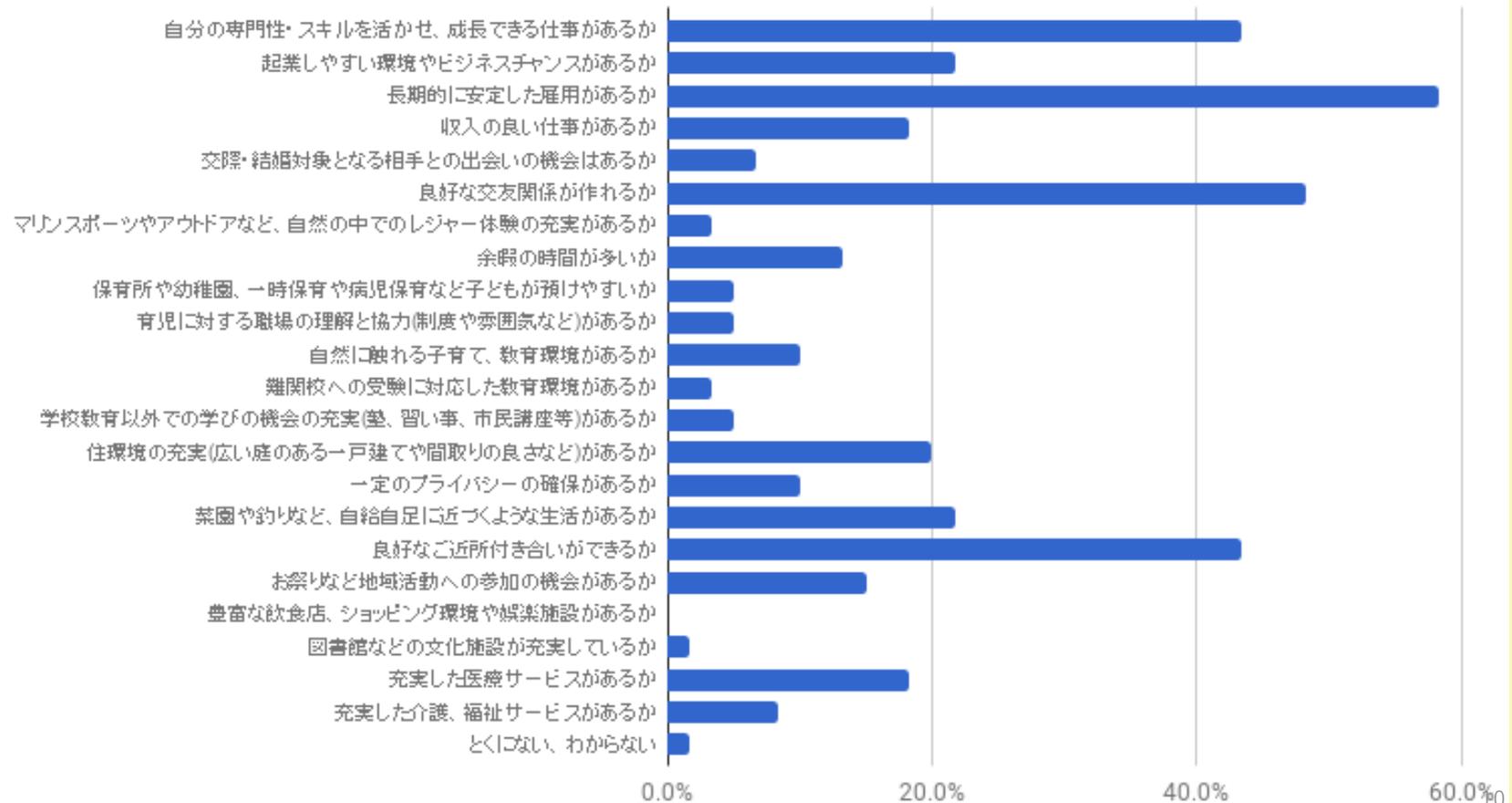
※回答者数に対する割合。

# 移住希望者の「移住の障害や不安」

移住の障害や不安に感じることは、「長期的に安定した雇用」「良好な交友関係」「専門性・スキルを活かせ、成長できる仕事」「ご近所づきあい」など、大きく**仕事及び人間関係**に関する項目が多く挙げられています。

## 移住の障害や不安(あてはまるもの全て)

n=60

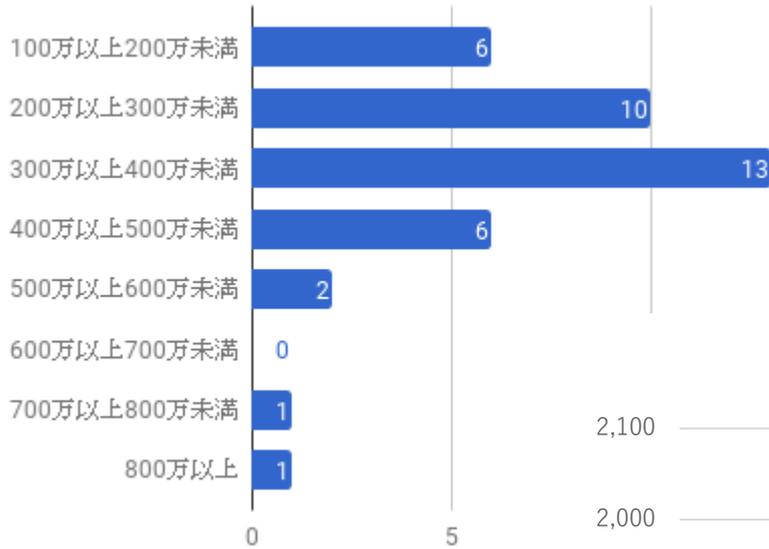


※回答者数を母数とする

# 移住希望者の希望年収

希望する年収

n=39



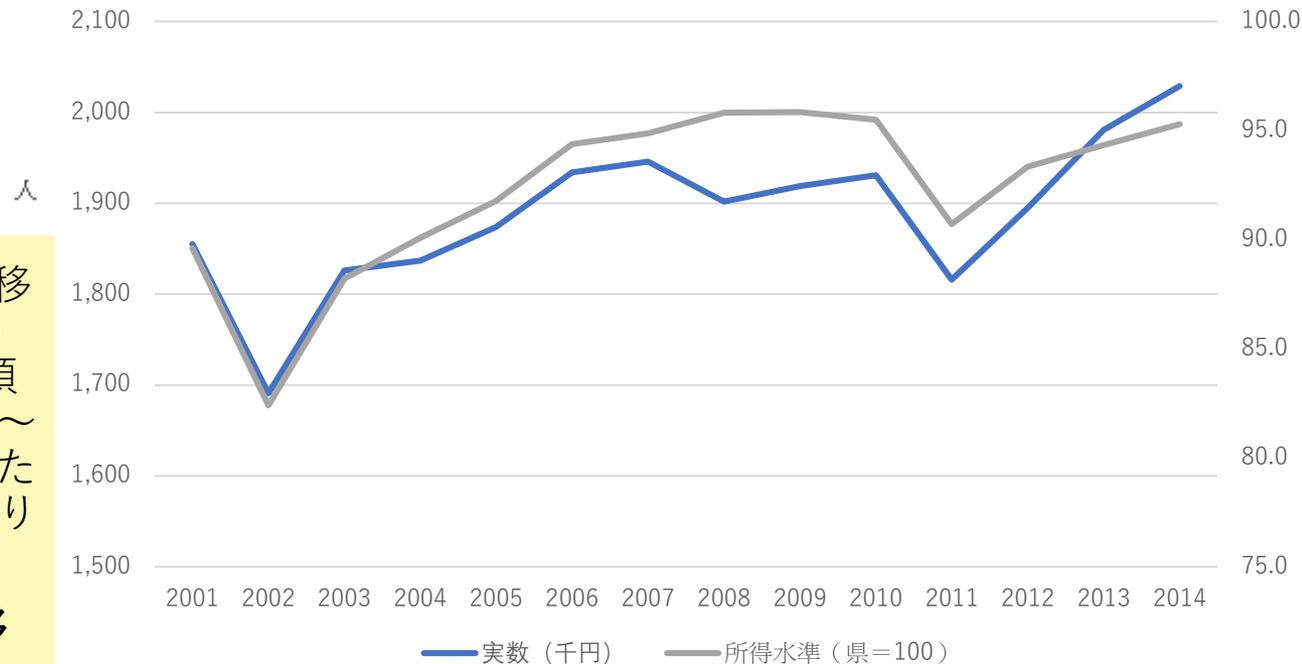
「移住の障害や不安」に「収入の良い仕事があるか」と答えた人に、希望する年収を聞きました。結果、左のグラフのように、「**200万～400万**」の回答が多くなりました。

※希望年収の下限で分類しています。例えば希望年収を300万～500万と回答した人は、「300万以上～400万未満」に分類しています。

久米島町の1人当たり所得推移は、右のグラフのようになっています。2011年から上昇傾向にあり、これまでは180万～190万前後を推移してきましたが、2014年は202.9万円となりました。

**更なる所得の向上により、移住の促進が期待されます。**

久米島町の1人当たり市町村民所得推移



※沖縄県市町村民所得「1人当たり市町村民所得」

([http://www.pref.okinawa.jp/toukeika/ctv/ctv\\_index.html](http://www.pref.okinawa.jp/toukeika/ctv/ctv_index.html))より作表

# 移住希望者の希望と障害

移住希望者さん達の一例を紹介します。

人物像	特に重要な、障害となっていること・懸念・不安に思 うこと	移住後に希望する生活や、やってみたいこと、実 現したいこと
地方銀行員・女性・20 代	仕事があるのかどうか。 独特の気候とうまく付き合っていけるだろうかとい う点。	仕事もプライベートもどちらも充実できれば良い と思います。
男性・20代	島民の方とのコミュニケーション、自分のスキルを活 かせるか	経営者。いずれは移住してくる人のサポートを行 いたい。
製造業 営業職・男 性・20代	台風、災害時のライフライン	久米島もしくは周辺の島の歴史や地域風土を調べ てみたい、釣り、ダイビング等の海のレジャー
花屋・女性・20代	子供を預ける所があるか、子育てと仕事の両立ができ るか(勤務時間や休日)	
デザイン、営業職・女 性・30代	現在3才(2014年3月31日生まれ)の息子の預け先がある か、 夫婦の仕事先があるかという2点です	久米島のPR活動などには積極的に参加したいです。 旦那は農業に興味があるそうです。(現在も外仕事 です。)
製造業、営業・男性・ 30代	正社員を希望しております。中長期的に安定した仕事 があるかが不安です。仕事があるのであれば、 移住を決心できそうです。	島の方々や自然と一緒にあって、自分のやりがい を見つけられるような生活を実現させたいです。
番組制作・女性・30代	気候や環境への自身の順応について。	ひとと直接関わられることをしたい。地元の人と違 う視点から魅力を打ち出し、古き良きものを残し つつ様々な発展に貢献したい。
求職活動中・女性・30 代	仕事とその収入	自然に身を任せてリラックスしながら生活したい
介護福祉士・男性・30 代	移住の際の、就職口、住まい、環境が合うかどうか。	自然を楽しみたい。素潜り、釣り
障害者施設の作業指導 員・女性・30代	金銭面	時間やお金に追われない、心にゆとりのある生活
介護支援専門員・女 性・40代	物価や住宅、病院等	自然の中でのんびり、仕事もしたい

人物像	特に重要な、障害となっていること・懸念・不安に思うこと	移住後に希望する生活や、やってみたいこと、実現したいこと
会社員・男性・40代	生活基盤が築くことが出来るのか。仕事内容はいませんが、島外から就職することにより、地域の方の仕事の場を奪ってしまうのではないかと。	現在まで仕事を言い訳に家庭をおざなりにしてきたと思います。妻を笑顔の毎日にしたい。
建設・土木・男性・40代	仕事と住居	まずは漁師になる事
水産研究所職員など・女性・40代	地域に馴染めるかどうか。	自然に近い生活をしながら娘をのびのびと育てたい。
公務員・女性・40代	収入と教育	自給自足
パート事務・女性・40代	運転免許が無くても働く場があるか	地元の祭りや、行事に参加して、交流しながら働きながら、生活する。
電気工事業・男性・50代	住まいと仕事	農業
製造、加工、組み立て・男性・50代	起業（惣菜屋）したいが生活していけるのか不安	惣菜屋（鳥のから揚げなど）
キャリアコンサルタントなど・女性・50代	子どもが増えていく継続的政策	キャリア教育、IT起業
看護教員・女性・50代	仕事があるか	心穏やかに自然体で暮らしたい
自動車ディーラー 会社役員・男性・50代	経済的な裏付けが確保出来るかが心配です。	地域の方との交流を通してセカンドライフを充実させてみたい。
商社・男性・50代	就職、住居、子供の学校	島の観光等良さを外部発信
食品（飲料水）営業・男性・50代	雇用と人間関係	現在全然できていない、地域での活動
教員・女性・50代	老親に何かあった場合、すぐに東京に行けるか	あくせくしない暮らし
住宅メーカー勤務・男性・50代	今の仕事を辞めること、久米島で仕事があるか、ゆっくり暮らすための資金、馴染めるか？	久米島の産業に貢献できる仕事がしたい
飲食店勤務・女性・50代	夫が外国出身だがうまくやっていけるか、息子が無職だが仕事があるか。	3人で自給生活や、エイサーを習いたい。外国人観光客にアドバイスなどしてみたい。うつ病気味の息子が人生をたのしんでほしい。
設計エンジニア・男性・60代	住まいと高齢者向けの仕事があるか	久米島の自然に順応した生活と久米島の歴史を学んでみたい。

# ③ 転出者の動向

転出者の動向を理解し、まちの課題や  
定住率向上のための要因を考える



データによる科学的まちづくりへ

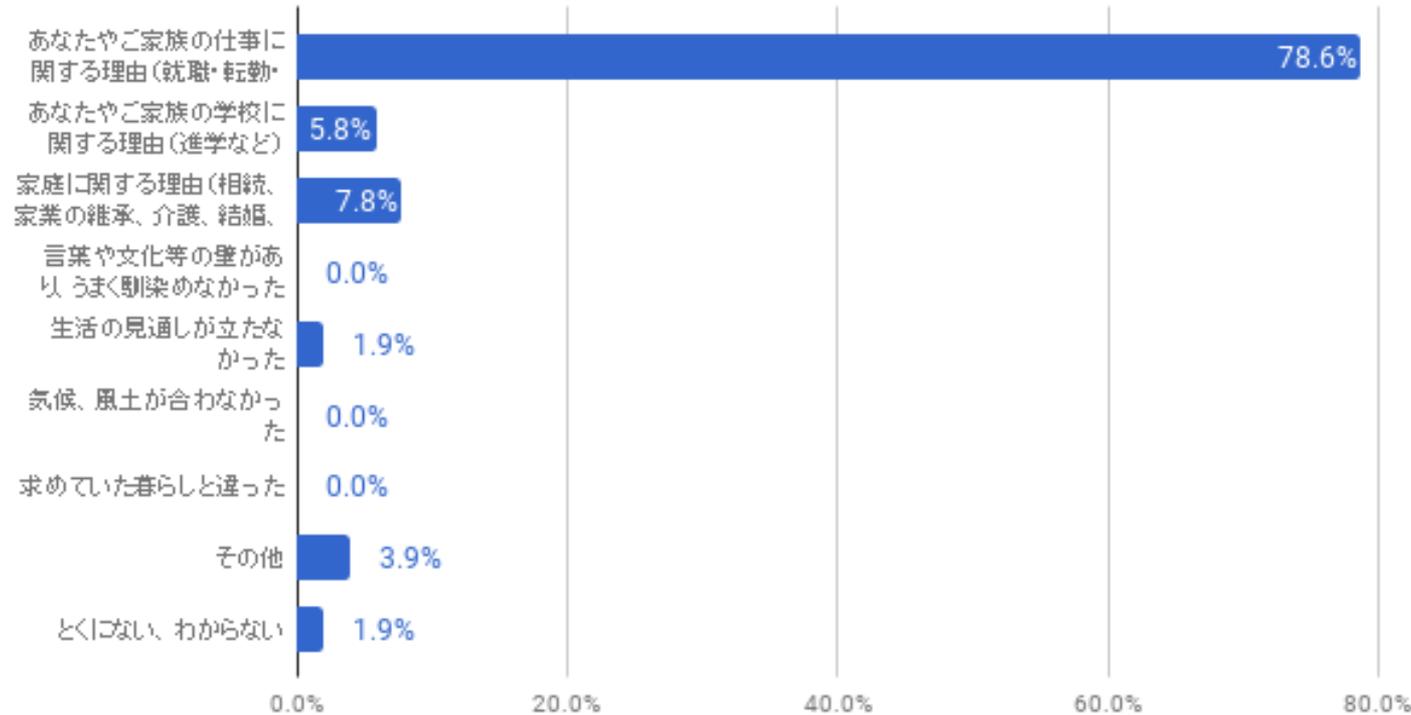
島コンラボ

<http://shimagurashi.net/>

# 転出者の転出理由

## 転出理由や動機(SA)

n=103



転出の理由としては「仕事に関する理由」が大多数となりました。

移住のミスマッチとも言える、「うまく馴染めなかった」「生活の見通しが立たなかった」「気候、風土が合わなかった」「求めていた暮らしと違った」という項目に関しては回答が少なくなりました。移住のミスマッチは現時点でそれほど起きていないと考えられます。

# 移住時の期待と転出時の「感じた不十分さ」

転入者が久米島での生活において期待していたことと、「転出者が不十分さを感じた・あったらいいなと思ったこと」を比較します。不十分さを感じたこととしては「充実した医療サービス」「成長できる仕事」「豊富な飲食店、ショッピング」などが挙げられます。

特に、赤く示した項目は順位が5位以上上昇したもので、「**実際に生活する中で不十分だと思ったこと**」であるとも言えます。「**図書館などの文化施設**」「**安定した雇用**」「**子どもの預けやすさ**」などが挙がっています。

順位 転入者が期待していたこと	転出者が不十分さを感じた・あったらいいと思ったこと 順位	順位変化
1 充実した医療サービスがあること	1 充実した医療サービスがあること	1→1
2 良好な交友関係	2 自分の専門性・スキルを活かせ、成長できる仕事	3→2
自分の専門性・スキルを活かせ、成長できる 3 仕事	3 豊富な飲食店、ショッピング環境や娯楽施設	4→3
4 豊富な飲食店、ショッピング環境や娯楽施設	3 図書館などの文化施設	12→3
5 良好なご近所付き合い	5 長期的に安定した雇用	13→5
マリンスポーツやアウトドアなど、自然の中 6でのレジャー体験の充実	保育所や幼稚園、一時保育や病児保育など子ども 6の預けやすさ	18→6
6 余暇の時間の多さ	7 一定のプライバシーの確保	8→7
8 自然に触れる子育て、教育環境	8 良好な交友関係	2→8
8 一定のプライバシーの確保	8 自然に触れる子育て、教育環境	8→8
8 お祭りなど地域活動への参加の機会	8 充実した介護、福祉サービスがあること	13→8
14 充実した介護、福祉サービスがあること	12 良好なご近所付き合い	5→12

# 島外出身転出者の当初予定と実際の滞在期間

転入者は、当初想定ではどのくらいの期間滞在するつもりで転入するのでしょうか。また、実際の滞在期間はどのくらいなのでしょう。

転出時のアンケート結果をまとめると、右のグラフのようになりました。

9割の転入者が3年以内の滞在予定として転入しています。いきなり定住する覚悟で転入する人は少なそうです。

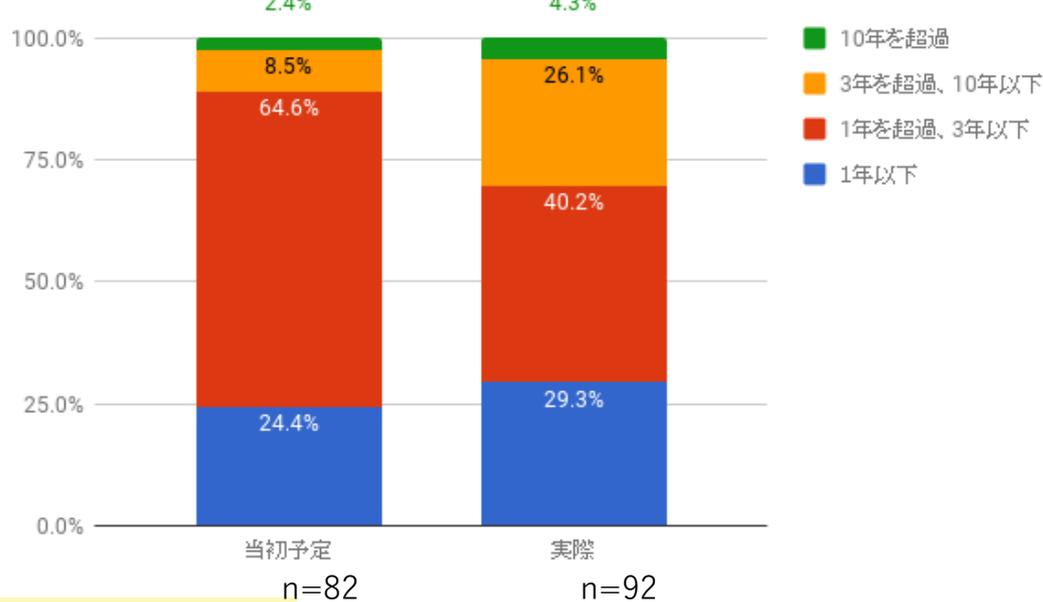
一方、当初想定していたよりも滞在期間は伸びる傾向にあります。**いきなりの定住を狙わず、居心地の良い島をつくり、滞在期間を伸ばす。**そんな戦略のほうが現実的かもしれません。

## また住みたいか？

「また住みたいか」の質問には、「住みたいと思う」の回答が全体の7割ほどとなりました。

転出者に対し、交流人口・関係人口として関わってもらえるような仕組みがあると有効かもしれません。

島外出身転出者の当初予定滞在年数と実際



また住みたいか

